

2023年3月25日(金)

大阪府議会議員団日本共産党 様

大阪府中央区谷町7丁目2-2-202

TEL06-6763-4381・Fax06-6763-3593

yoshimura@daihoren.com

大阪保育運動連絡会

会長 菅野 園子

公開質問状にご協力ください

貴団体におかれましては大阪府民の生活を守るため、日々活動していただき、心から感謝申し上げます。私たちは「誰もが安心して子どもを産み育て、働き続けられるように」「すべての子どもたちが健やかに成長、発達するように」「保育を担う人たちが健康で生き生きと働きつづけられるように」と願い、1964年に結成した団体です。保育者・保護者・研究者など約2万人の構成員がおり、保育所などの実態や保育要求について調査・研究を実施、政府や自治体に対して保育政策の改善を要求し署名や請願などの活動をしています。

現在、保育分野では配置基準や面積基準が70年以上、変わっていない中で保育者は「現場の頑張りだけでは、もう限界」と悲鳴を上げている状況です。

今回の一斉地方選挙は保育・子育てについてどのような拡充ができるのか、各党派への期待の声が広がっており、私共団体も「選挙に行こう」と構成員によびかけをしています。

つきましては下記の内容について、どのような見解や公約などをお持ちなのか、教えていただきますよう、よろしくお願い致します。ご回答いただいた内容は構成員に情報提供する予定です。

お手数ですが3月31日までにfaxかメールでお答えいただきますよう、よろしくお願い致します。

質問項目

1、国の保育所における保育士配置基準についてどのようにお考えですか？

0歳児（子ども3人に保育士1人） 1・2歳児（子ども6人に保育士1人）

3歳児（子ども20人の保育士1人） 4・5歳児（子ども30人に保育士1人）

【回答】

保育現場では国の基準どおりの配置では安全な保育が出来ないため、園が人件費を持ちだし2倍近くの保育者を配置していると聞いています。そのことから考えると理想的な配置基準は子どもの人数を国の基準の半分くらいにするのが望ましいのではないかと思います。

例えば0歳児2対1、1歳児は3対1、2歳児は4対1、3歳児は10対1、4、5歳児は15対1が実態にあっているのではないかと思います。

日本共産党大阪府議団として安心・安全な保育が出来るよう、大阪府として配置基準改善にため尽力していきます。

2、保育士の処遇改善が緊急の課題となっていますが、どのようにお考えですか？

【回答】

保育士は子どもの命を守り、発達に即した保育内容を創り、保護者の子育て支援をする専門職だと考えています。ところが、保育士の給与は全産業平均より月8万円程度も低いとされています。

ただちに引き上げ、専門職にふさわしい処遇に改善することが必要だと考えています。

3、大阪では公立保育施設の民営化や統廃合で他県に比べ公立保育施設の設置率が低くなっています。

この状況をどのようにお考えですか？

【回答】

公立保育施設は保育園に通っている親子だけではなく、地域の子どもの育ちを守り保護者の子育てを支援する役割があるため、これ以上減少してはいけなないと考えます。また、各地域で保育関係者が公立保育施設の民営化などに対して反対運動をしています。

地域の保育関係者の願いを受け止め、党として一緒に考え、府政に働きかけていきたいと思えます。